

## 1. 活動期日

2025年6月22日（日）10:00～15:00

## 2. 活動場所

ラポルトすず：珠洲市飯田町 1-1-8

## 3. 珠洲市の被害状況（令和7年6月20日 14時現在 石川県庁情報 第207報）

人的被害 死者：173人 うち災害関連死：76人 負傷者：重症47人、軽症202人

住家被害 全壊：1,756棟、半壊：2,097棟、一部損壊：1,751棟

非住家被害：公共建物71棟、その他6,444棟

令和6年奥能登豪雨による被害状況（令和7年6月20日14時現在 石川県庁情報 第56報）

人的被害 死者：3人 負傷者：軽症9人

住家被害 全壊：14棟、半壊：64棟、一部損壊：12棟 床上浸水：18棟 床下浸水：229棟

非住家被害：133棟

## 4. 活動参加したイベントについて

イベント名：珠洲心の復興マルシェ AkaAka

主催：珠洲心の復興マルシェ実行委員会

目的：「心の復興」をテーマに、地元の人には復興へ向かうエネルギーに、県内外の方には能登に来るきっかけにすること

内容：屋内ではダンスパフォーマンスやゴスペルグループのステージ、すず吹奏楽団のホルン奏者の演奏などが屋内で行われた。また、ネイルアートや様々なものづくり体験ブースが出展していた。NPO 法人災害看護研究所から健康チェック・健康相談、アロマハンドマッサージ、リボンレースの小物作りが提供された。屋外では移動式遊び場の提供、焼きそば、クレープの販売等が行われていた。

参加人数：261人 お茶席の受付は34人

## 5. 活動の実際

活動隊員は本部支援として、総合受付、お茶席の受付を行った。参加者に声をかけながら、お茶席へお誘いしたり、他ブースの案内を行った。

## 6. 活動を通しての所感と課題

1年前に行われた珠洲心の復興マルシェは、仮設住宅の集会所と屋外駐車場スペースでの開催だったが、今回は公共施設で実施され、内容も多彩で多くの人が来場していた。ステージイベントの時間になると参加者皆さんが見入り、聴き入り、楽しんでいる様子をうかがうことができた。かつて奥能登芸術祭で披露されたダンスパフォーマンスということで、これまでのように芸術を愉しむ時間を持てたこと

は心の豊かさを取り戻すきっかけになるのではないかと考える。ものづくりブースも「私はこれがやりたくて来たんや」とお目当ての体験がある人もおり、参加者それぞれにとっての楽しみを提供する機会になっていた。

屋外の広々とした芝生の上で様々な遊具やスラックラインなどを楽しむ子供の様子があり、裸足だけが心配なく思い切り遊ぶことができる体験は、子供の身体と心の発達に大きく影響すると考える。

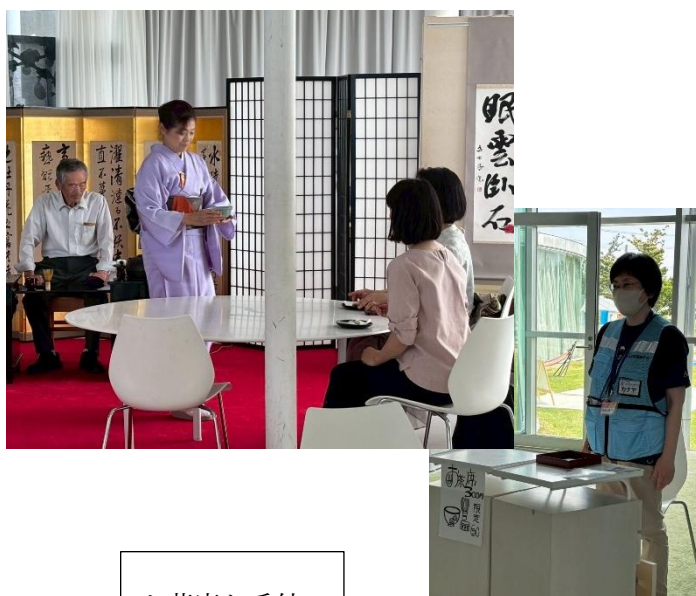
子供から高齢者まで幅広い対象者が来場し、普段の生活とは少し異なる体験やそれぞれの思いを吐露できる時間と空間の提供があることで、リフレッシュにつながっていたと考える。

お茶席では、季節の生菓子が準備され、日頃の練習のお手前を披露されていた。ステージイベントの時間の合間にお茶をいただく方もおられたが、中には夜眠れなくなるとためらっている方もおられた。お茶席を勧める工夫が必要であった。

## 8. 参考写真



受付でメッセージボード作成



お茶席と受付



ダンスパフォーマンス



スラックラインに挑む子ども